

平成目安箱への回答 No.14 (花の名所づくりでアピール)

担当主管課：都市計画課都市計画係 内線 239
産業観光課観光推進係 内線 334

要望等内容	回答
<p>毎年2月になると、菜の花の名所として二宮町の吾妻山がテレビや新聞で紹介されます。富士山をバックにした菜の花は見事で、それこそ恒例の風物詩となっており、正直ちょっとジェラシーも感じます。我が町にもこういった花の名所があればニュースに取り上げてもらえるのではないのでしょうか。</p> <p>そこで提案ですが、西久保の富士見平バス停付近に、スイセンもしくはロウバイを密植してはどうでしょうか。晴天の多い冬の時期、富士山が映り込み、二宮よりも早い時期に取り上げてもらえるのではないのでしょうか。ちょっとしたポケットパーク的なものも整備してはと思います。是非ご一考を。</p> <p>追伸 このコーナー「平成目安箱」となっていますが、今年令和二年ですよ。早急に手直ししてください。民間の仕事では考えられません。</p>	<p>町政につきまして、日頃より御理解、御協力いただきありがとうございます。</p> <p>2月も中旬に入り、春の足音が聞こえてきそうな季節になりました。</p> <p>町内にはソメイヨシノ、シダレザクラ、カワツザクラ等、様々な種類の桜が咲きます。桜の名所もたくさんあり、山、川、歴史的建造物や他の植物と桜とが織り成す春の大磯の風景が素晴らしく、人々の目を楽しませてくれます。</p> <p>大磯運動公園と星槎湘南大磯キャンパスにも桜が植栽されておりますが、この桜は、町内在住の方が出身地である福島県の生家敷地内にある樹齢300年を超えるエドヒガン桜を大磯でも咲かせたいと接ぎ木で苗木を育て植栽し、桜を育成していく中で「桜の形状が少し違うのでは」と感じたことから、専門の認定調査を経て、令和2年2月1日に、新しい桜の園芸品種「大磯小桜(おおいそこざくら)」として認定されました。</p> <p>「大磯小桜」は、大磯運動公園の南側駐車場から運動場までの遊歩道沿いに多く植栽されておりますので、今後、この「大磯小桜」が綺麗に見られる場所として、大磯町の「桜の名所」へと繋がるよう観光PRを行ってまいります。</p> <p>また、毎年4月・5月には、個人宅やお店のお庭を公開する「大磯オープンガーデン」が開催されております。</p> <p>現在、約130もの個人宅やお店が参加しており、来訪者も年々増え、大磯で「花」を楽しめるイベントの一つとして、町内外から認識されるようになってきております。</p> <p>ご提案いただきました西久保エリアも含め、このような「花の名所」となるには、当然、「緑」や「花」に対する町民の方の意識や地域の方の想いはもちろんのこと、日ごろの花の手入れなど、担い手の方も必要となります。</p> <p>引き続き、地域の方とも連携しながら、「花の見どころ」のような町の魅力を発信できる拠点を増やしていくとともに、「花を楽しめるまちづくり」に取り組んでまいります。</p> <p>なお、この「平成目安箱」は、皆さんから町政に対する御意見や御提案などをいただくため、現町長が就任した翌年の平成23年2月に設けた制度です。</p> <p>昨年5月に元号が令和へと改められましたが、10年も続く制度であり、皆さんに浸透していることでもありますので、名称は変更せずに継続しております。</p> <p>この度は、貴重な御意見をいただきありがとうございました。</p>

目安箱受付日：R2. 2. 13

掲示日：R2. 3. 5